

企業短期経済観測調査（道北*地域分）
（調査対象企業：道北*46社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内

回答社数構成比 %ポイント

（ ）内は前回調査時予測

（判断D. I.）

	2011/9月	12月	2012/3月	6月	9月	12月	2013/3月までの予測
業況判断 < 良 - 悪 >	▲46	▲34	▲29	▲8	▲9	(▲17)	▲19
うち製造業	0	0	▲20	▲20	▲30	(▲20)	▲20
非製造業	▲58	▲42	▲32	▲6	▲3	(▲17)	▲20
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	▲48	▲32	▲29	▲25	▲18	(▲30)	▲44
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	11	6	9	13	11	(—)	—
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	6	5	7	7	0	(6)	7
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	5	9	6	0	▲8	(▲4)	▲10
資金繰り < 楽である - 苦しい >	▲32	▲32	▲26	▲22	▲7	(—)	—
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	▲7	▲5	▲7	▲4	4	(—)	—
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	▲8	▲13	▲9	▲7	▲7	(▲5)	▲7
販売価格 < 上昇 - 下落 >	▲27	▲29	▲29	▲33	▲28	(▲35)	▲31
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	21	21	27	23	18	(20)	18

（注）「製商品在庫水準判断」および「資金繰り判断」、「金融機関の貸出態度判断」の「2013/3月までの予測」は調査対象外。

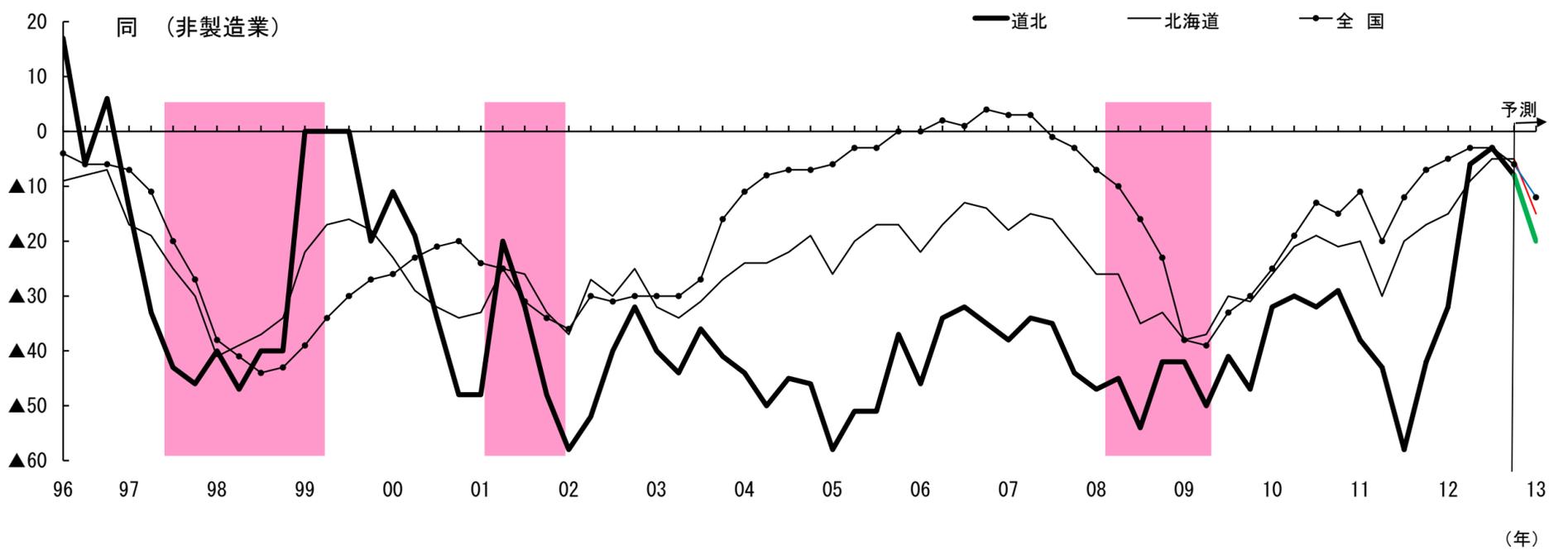
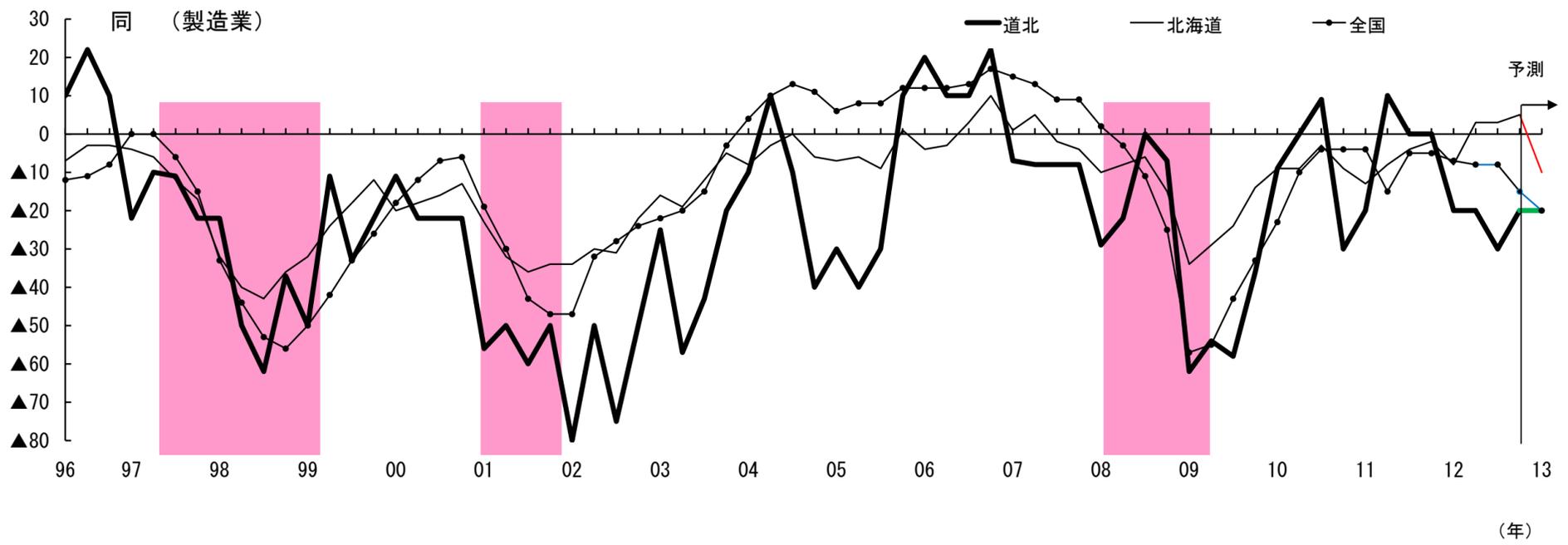
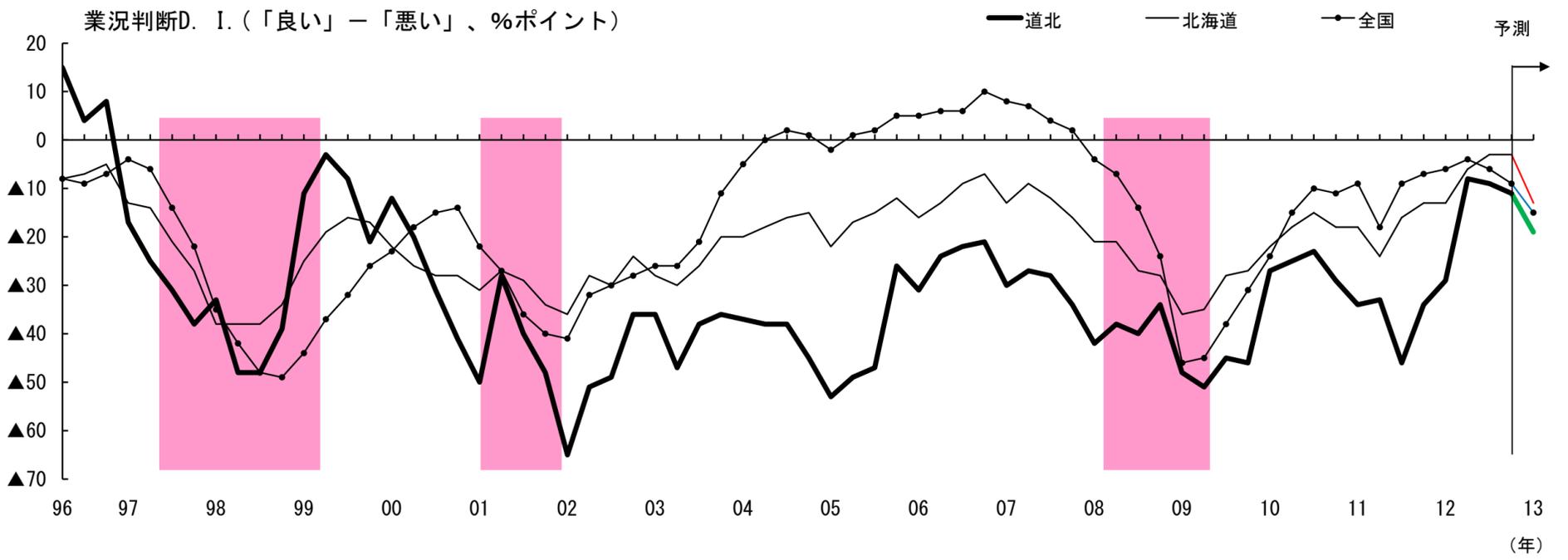
全産業、前年度比%、

< >内は前回調査比修正率%

（事業計画）

	2011年度	2012年度計画	
		上期	下期
売上高	+1.6	▲5.4 < -1.8 >	▲3.3 < -2.7 >
経常利益	+2.1	▲29.4 < -43.0 >	2.0倍 < -63.6 >
当期純利益	赤字転化	黒字転化 < -56.6 >	黒字転化 < -69.1 >
設備投資額	+14.4	14.8 < +29.9 >	▲0.6 < +18.6 >

2012年12月短観・調査結果



(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
 2009/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、2009/12月以降は見直し後の新ベース。
 シャドローは景気後退期（内閣府調べ）

2012年12月短観のポイント

- 回答期間：2012年11月13日～12月13日。
- 道北地域46社が対象（有効回答社数46社）。

（業況判断D. I.）

- 業況判断D. I. は▲11%ポイントと前回（9月）調査（▲9%ポイント）比2%ポイントの悪化。
- 製造業では▲20%ポイントと9月調査（▲30%ポイント）比10%ポイントの改善。一方、非製造業では▲8%ポイントと9月調査（▲3%ポイント）比5%ポイントの悪化。
- 電気機械（新規事業分野開拓）や運輸・郵便（新規受注獲得）で業況判断を改善させた先がみられた一方、建設（工事量の減少）や宿泊・飲食サービス（最近の日中関係の影響）で業況判断を悪化させた先がみられた。
- 今回（12月）調査の業況判断D. I.（▲11%ポイント）は、前回（9月）調査における12月までの予測（▲17%ポイント）との対比では予想を上回った。
- 先行き3月までの見通しは▲19%ポイントと8%ポイントの悪化。業種別では製造業（▲20%ポイント→▲20%ポイント）が横這いとなる一方、非製造業（▲8%ポイント→▲20%ポイント）は悪化を見込んでいる。業種別には、建設（住宅における消費税率引き上げ前の駆け込み需要から改善を見込む先があったものの、人出不足や工事量の減少から悪化を見込む先が多かった）、宿泊・飲食サービス（最近の日中関係の影響）などで先行きの業況判断が悪化。

（事業計画）

- 2012年度の売上高は、前回調査比下方修正（▲1.8%）。前年度比は▲5.4%の減収見込み。東北の被災地住宅等向け需要の増加から木材・木製品で上方修正されたものの、円高・欧州景気の減速の影響から電気機械で下方修正。
- 2012年度の経常利益は、前回調査比大きく下方修正（▲43.0%）され、▲29.4%の減益見込みに。電気機械等で下方修正。
- 2012年度の設備投資は、前回調査比上方修正（+29.9%）され、+14.8%の増加に転じることを見込んでいる。木材・木製品および電気機械で増額修正した先がみられた。

以 上